

## 団体理念

チャイルド・ケモ・サポート基金は

病気があっても一人ひとりの子どもと家族が大切なことを大切にできる社会を目指して活動しています。

### チャイケモにとって大事なこと

#### 1, 治療をしながら、生活もあきらめない

こどもが小児がんや難病になると治療が最優先となり家族がバラバラになったり、友だちに会えない、学校に行けない生活となります。今まで大好きだったこと、大切だったこと、あたりまえに過ごしていたことが、一気に崩れてしまう環境になります。

チャイケモでは、治療中でも「家族で一緒にいたい」「友だちと会いたい」「〇〇を続けたい」という気持ちを応援し、実現できる環境をつくります。

活動内容：滞在施設「チャイルド・ケモ・ハウス」の運営、よりみちの実施、滞在者や退居者への相談支援

### チャイケモにとって大事なこと

#### 2, 次の一步の架け橋となる

病気や入院生活によって、これまで経験したことのないうつらさ、くやしき、悲しみを経験し、これまで知り得ることのなかった世界を知った子どもや家族が、「自分もだれかのために」と一歩踏み出そうとしたときに架け橋となれるよう、その場所や機会をつくります。

活動内容：チャイケモウォーク、あのねサポーター

### チャイケモにとって大事なこと

#### 3, 多様性を尊重し、だれもが暮らしやすい社会をつくる

「治療をがんばったことよりも治療や病気によってみんなと違うことがいやだという気持ち強い、、、」大変な治療をがんばった子どもと家族が、違いを気にしすぎることなく社会生活を送るには、幼稚園、学校、職場などが普段から違いを尊重し、認め合う環境になっている必要があります。病気の子どもと家族が暮らしやすい社会は多様な背景をもつ子どもと家族、そしてだれもが暮らしやすい社会です。

活動内容：小・中学校でのがん教育、みえてくプロジェクト